



「集客面は上々。後はクルーズ当日にどれだけの満足感を与えることができるかが大事」と話すのは、姫路港ポートセールス推進協議会事務局の水田裕一郎さん(四〇)＝姫路市飾磨区。工業港のイメージが強い姫路港を観光振興に生かそうと、内

姫路港にクルーズ船を

外航の客船の寄港やクルーズ誘致に取り組む。来月二日には、豪華客船「ふじ丸」(二三、二三五ト)による初の同港発着日帰りクルーズが実現する。定員五百人は既にキャンセル待ちの状態という。

同港のそばで生まれ育った。現在も海運会社に勤め、海や港はいつも生活の一部。「姫路港にもっとにぎわいをつくり、市民に親しんでもらえる場にした。合併する香寺、夢前、安富の人たちにも新しいまちには海と港があるという意識を持ってもらえれば」

(佐々木道哉)